

# 【測定結果】Lden62dB（年間）予測ライン付近<京浜島>

○測定期間 令和2年9月23日～10月6日（うち南風運用は3日）

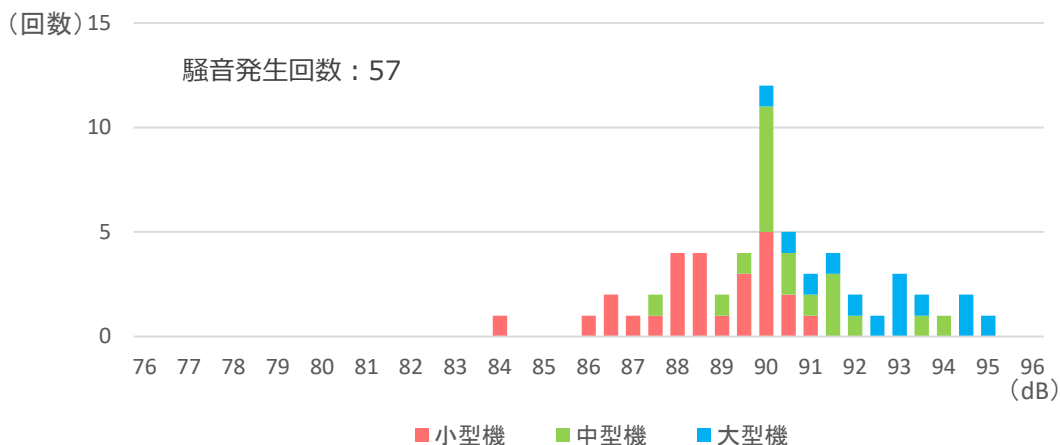
○飛行経路測定地点の位置関係

A滑走路南向き着陸経路の着陸目標点から約1.8kmで、経路の直下。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）

ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



○総括

- 南風運用が3日間であったためデータ数は少ない。
- 今回の測定結果をもとに推計した年間のLdenは57であり、環境基準が適用される地域であったとしても一番厳しい基準を満たす結果であった。
- 地上と測定地点との高度差や屋上の反射音の影響により測定結果が高くなっている可能性がある。

単位：dB

機材サイズ	実測値の平均 (9/23-10/6)
大型機 (B777、A350等)	93.1
中型機 (B787、B767等)	91.1
小型機 (B737、A320等)	89.1

※機体サイズを区別せずに算出した実測値の平均：90.9dB

○Lden(dB)

年間推計 Lden	測定期間 (2W Lden)	9/28 (日Lden)	10/2 (日Lden)	10/4 (日Lden)
<b>57</b>	<b>53.2</b>	57.4	60.1	61.4

Lden：航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

\* 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている。

【環境基準】

環境基本法第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る環境基準。

専ら住居の用に供される地域（地域の類型Ⅰ）の基準値はLden57デシベル(年間)以下。Ⅰ以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域（地域の類型Ⅱ）の基準値はLden62デシベル(年間)以下。

※工業専用地域は、環境基準の地域類型のあてはめを行わない。

○Lden62dBと予測されるライン

